

太宰 治／芥川龍之介／夏目漱石etc.[作家の手紙]

大人の文房具

vol. 02

780定価

100%ムックシリーズ

作家の手紙

心を伝える技術と道具

太宰 治
芥川龍之介
夏目漱石
池波正太郎
etc.
から学ぶ

「万年筆」
「カラーインク」
「レターグッズ」
の選び方

巻頭インタビュー

安藤忠雄

建築家の
仕事道具

恥をかかないための礼を知る
フォーマルレターの作法
引き出しに眠っていた一本が復活！
万年筆のリペア
&メンテナンส์講座



自分と対話するための

書斎芸術

「企業経営者」から
「ファンフィクション作家」
「ブックコーディネーター」まで

クラスアップする大人の

革アイテム 図鑑

「ペンホルダー」「フットカバー」
「デジタル機器ケース」etc.

食環境ジャーナリスト

金丸弘美氏



全国を飛び回るための “ベースキャンプ”的書齋

【レイアウトの7つのこだわり】

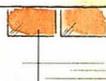
5 本棚

同じ規格のシェルフユニットが在庫切れのため、このときはまだ届いていなかった。以前から使っていた本棚に本や取材ノートが並ぶ。



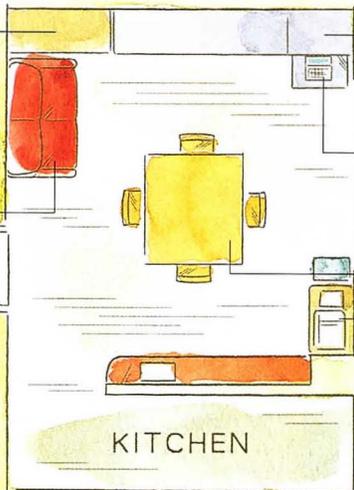
6 ソファ

オフの時はパソコンも片づけ、ソファでくつろぐこともある。



7 本棚

廊下の本棚にも資料用に残した書籍が収められている。



1 シェルフユニット・AVラック

キッチンの収納とそろえたユニット。書籍や資料類は扉付きの棚に入れる。

2 パソコンデスク

パソコンデスクも使わないときは扉を閉めて隠すことができる。

3 ダイニングテーブル

リビング兼用の仕事スペースなので、時にはこちらで仕事をする場合も。

4 プリンタ&ファックス

以前、キッチンで使っていた収納器具を周辺機器用のラックに。



1952年生まれ。出版社勤務などを経て「食」をテーマに全国を取材。「食」を通じた地域活性化事業に携わる。主著に「地域ブランドを引き出す力」など。

04

Dialogue in Library

思い切った「断捨離」で書齋をユニットに収納！

「食による地域活性化」をテーマに全国を駆け回る金丸弘美氏。現在暮らす都心のマンションには、2011年10月に引っ越ししてきたばかりだが、自宅にいた日は月の半分もない。以前は郊外在住だったが、交通の便を重視して都心部に移った。金丸氏の仕事のメインは地方の現場にある。フットワークは最大の武器なのだ。

だが、交通の便がよくなったぶん、生活スタイルをコンパクトにする必要があった。以前は1部屋を仕事部屋に当てていたが、現在はリビングとの兼用だ。壁一面を埋めるシェルフユニットに、金丸氏の仕事道具はほぼ収まっている。

引っ越しの際には奥さんの姉や従姉妹の協力が大きかったと金丸氏はいう。空間を広く見せるために、書齋ユニットとキッチン収納を白いユニットで統一したのも彼女たちの助言による。購入したのはカタログ通販だそうだが、さらに荷物の整理の際も「厳しい指導」を受けた。「あなたは片づけが下手だから、いつも言われていますから」と金丸氏は笑う。

義姉の家族は阪神淡路大震災で持ち物をすべて失った。以来、ものを持たないライフスタイルに切り替えたという。金丸氏もそ



[書齋まわりの道具たち]



仕事道具はコンパクト。パソコンとデジカメ、ICレコーダー、ココロのノートと三菱鉛筆のサインペン「PIN」を持ち歩く。



出会った人にはすぐ手紙やメールを送るのが金丸流。自身の似顔絵や著書の装丁などが描かれたポストカードを常に用意している。

ここが指定席

省スペースに徹した収納ユニットのPCデスクはAVラックとも一体化。扉を閉めれば、一般的なリビングに。



過去に執筆した記事などはすべて切り抜いてファイリング。デジタル化して、自分のホームページにアップしている。



名刺類は大型スクラップブックに。1年で3冊ぶん溜まる。



最新号も順次デジタル化していく。手元に残したいと思う雑誌も多いが、膨大な量になってしまいうので踏み切りをつけた。



の影響を受けたそうだ。引越時に処分した荷物はトラック数台分。金丸氏によれば、整理のコツは「とにかく思い出に浸らないこと。夫婦でやるとケンカになりますから、第三者に手伝ってもらおうのがいい」という。

さらにライターになって30年以上、執筆してきた雑誌をきちんと保管してきたが、それもすべて切り抜いてファイリングし、デジタル化した。捨てるには惜しい雑誌や書籍も多数あったが、「最近古い雑誌でもネットで手に入れることができます。だからわざわざ手元に置いておかなくてもいいでしょう」と金丸氏はいう。

仕事の資料も大半を処分している。「食や農業関係なら政府や自治体が正確なデータを持っていますから、オリジナルのありかを知っていればいいわけです。すべてを自分が持っている必要はない」と考えを切り替えた。

その結果、自宅の仕事場まわりをスリム化し、必要な情報をPC上に集約できた。「決断してしまつたら、逆に仕事はやりやすくなりました」と金丸氏もいうように、書齋の断捨離は仕事の足腰を強化してくれる。